

2001年2月期

スター精密株式会社
第76期 事業報告書

株主の皆様へ

STAR'S REPORT

76

star

ご
あ
い
さ
つ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社第76期(平成12年3月1日より平成13年2月28日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当期における世界経済は、米国、欧州およびアジア経済とも前半は好調に推移いたしました。後半に入り米国経済を中心に減速傾向が強まりました。一方、わが国経済は情報技術(IT)関連分野を中心に設備投資は高い伸びを示したものの、個人消費の低迷が続き景気は足踏み状態で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループは小型・高機能を追求した新製品の開発ならびに海外移管の推進など生産体制の拡充に取り組む一方、IT関連分野を中心に積極的な営業活動を展開いたしました。電子機器部門におきましては、電子ブザーが世界的に携帯電話機需要の伸びが鈍化した影響を受け、前期並の売上げにとどまりましたが、大型プリンタは中国において徴税用インボイス発行機に採用されたことから期後半より受注が急伸しました。工作機械部門におきましては、内外ともIT関連分野を中心に好調な設備投資を背景に売上げを大幅に伸ばしました。精密部品部門におきましては、光通信関連部品など非時計部品で売上げを伸ばしました。

以上を総合して、当期の連結業績は売上高は523億4百万円(前期比16.5%増)、経常利益は64億7千7百万円(前期比80.4%増)、当期純利益は32億7千3百万円(前期比21.1%増)となり、増収増益を達成することができました。

今後の見通しにつきましては、長期にわたって世界経済を牽引してきた米国経済が下降局面に入り、世界経済の見通しが厳しさを増しているなかで、わが国の構造改革は遅々として進まず、早期の景気回復は期待しにくい状況にあります。こうした状況にあつて、当社グループは得意とする小型化・高精度化技術に経営資源を集中し、高付加価値製品の開発体制を強化するとともに、製造・販売・開発の海外展開をさらに促進し、グローバルマーケットでの競争力を高めてまいります。同時にサプライチェーンマネジメント(SCM)の導入などにより生産期間の短縮と在庫の圧縮を進め、連結上の資金効率を高めて財務体質の強化を目指してまいります。

おかげさまで、昨年当社は創立50周年を迎えました。今後は21世紀に真に期待される技術創造型の企業グループとして研鑽を重ねる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年5月
取締役社長

糟谷省三

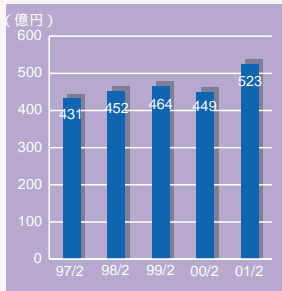
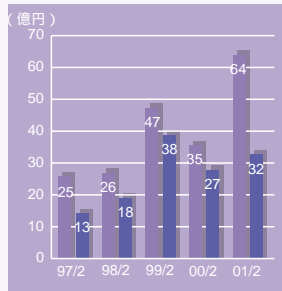


連結ハイライト

連結主要財務情報

項目		97年2月期	98年2月期	99年2月期	00年2月期	01年2月期
経営成績						
電子機器部門	百万円	26,009	24,515	24,678	26,408	28,476
工作機械部門	百万円	12,657	15,048	16,832	14,384	19,410
精密部品部門	百万円	4,527	5,655	4,968	4,120	4,416
売上合計	百万円	43,194	45,219	46,479	44,913	52,304
経常利益	百万円	2,551	2,628	4,729	3,591	6,477
当期純利益	百万円	1,390	1,874	3,899	2,702	3,273
1株当たり当期純利益	円	24.62	33.17	69.02	47.84	57.91
財政状態						
総資産	百万円	59,850	60,646	61,524	62,950	72,211
純資産	百万円	34,958	37,023	40,583	42,931	46,798
株主資本比率	%	58.4	61.0	66.0	68.2	64.8
1株当たり株主資本	円	618.82	655.37	718.40	759.48	827.84

売上高

経常利益
当期純利益

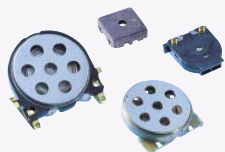
営業の概況

電子機器部門

当部門の電子ブザーは、世界的に携帯電話機需要の伸びが鈍化し欧州の大手携帯電話機メーカーが生産調整を行った影響を受け、売上げは前期並にとどまりました。また、新規に開発したマイクロフォン、スピーカー、レシーバーを市場投入し、販売活動を開始いたしました。一方、大型プリンタは、中国における増徴税(付加価値税)徴収システム用のインボイス発行機として複写機能に優れたフラットベッドタイプが評価され、期後半より受注が急伸びしました。小型プリンタは、サーマルプリンタの新製品を投入するなど拡販に努めましたが、需要低迷と厳しい価格競争により苦戦を強いられました。

以上の結果、当部門の連結売上高は284億7千6百万円(前期比7.8%増)となりました。

なお、生産の海外移管の推進にともない、国内生産子会社2社を当期末をもって解散いたしました。



電子ブザー/レシーバー/スピーカー



大型プリンタNX-650

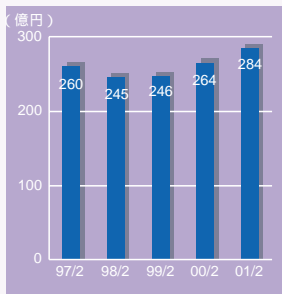


小型プリンタTSP-700

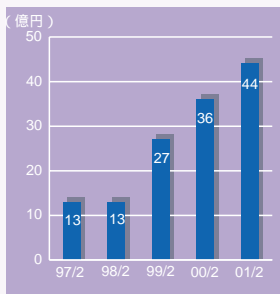


カードリーダー/ライターTCP2000

売上高



営業利益



営業の概況

工作機械部門

当部門のCNC自動旋盤は、高精度・高生産性を特長とするSA・SRシリーズならびに高精度複雑加工・難削材加工能力に優れたSVシリーズが市場の高い評価を受けました。国内販売は、成長著しいIT関連分野ならびに自動車関連業界向けなどを中心とした旺盛な設備投資を背景に受注が拡大し、売上げを大幅に伸ばしました。海外販売は、ユーロ安の影響はあったものの、欧米、アジアとも活発な設備投資に支えられ売上げを大きく伸ばしました。また、昨年12月には、当社独自の制御方式の採用により加工時間の大幅な短縮を実現した新機種SI-12を市場投入し、予想を上回る受注を獲得いたしました。

以上の結果、当部門の連結売上高は194億1千万円(前期比34.9%増)と過去最高の売上げを達成いたしました。

なお、昨年5月に東南アジア地域の市場調査およびサービス体制の強化を目的に、タイ・バンコクに当社の駐在員事務所を開設いたしました。



SA-16R



SR-16/20R

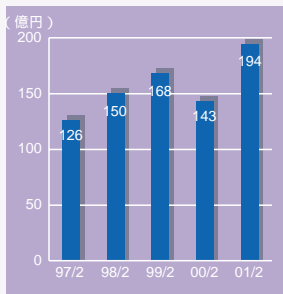


SV-12

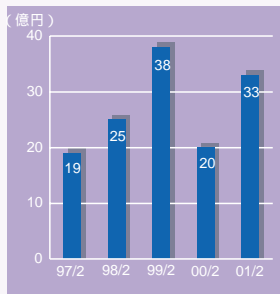


SI-12

売上高



営業利益

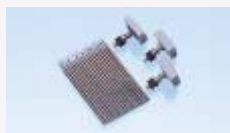


精密部品部門

当部門の腕時計部品は、依然として厳しい環境のなか前期並の売上げを確保いたしました。一方、非時計部品では、IT化の進展により需要が拡大する光通信関連部品、パソコン関連部品ならびに医療関連部品、自動車関連部品などの受注拡大に積極的に努めた結果、売上げを大きく伸ばしました。

以上の結果、当部門の連結売上高は44億1千6百万円(前期比7.2%増)となりました。

なお、非時計部品の生産能力拡大のため、静岡県菊川町に生産子会社を設立し、昨年10月に生産を開始いたしました。



捲真・インサートボタン



リューズ・ヘッダーネジ・歯車

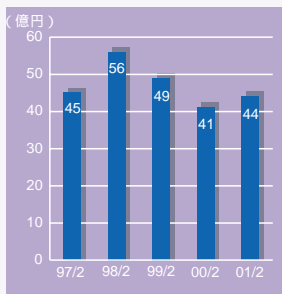


光コネクタ部品

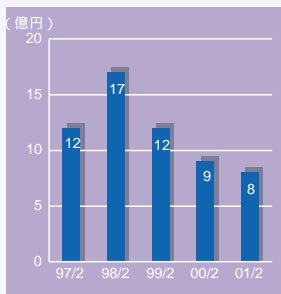


医療用部品

売上高



営業利益



ニュースリリース

2000/8/10

米国持ち株会社設立を決定

米国内グループ会社における資金の有効活用を図るため、米国既存子会社スターマイクロクス アメリカ・INCおよびスターCNCマシンツールCorp.の持ち株会社スターアメリカホールディング・INCを設立。

2000/5/22

ネットワークシステム「スターオープンCNCシステム」を発表、6月より発売

CNC機とPC間の双方向通信を実現したネットワークシステム。

2000/5/22

スイス型CNC自動旋盤の新製品「SV-12」型を発表、6月より発売

小径難削材の高精度複雑加工に最適な新製品「SV-12」を発売。

2000/5/22

NCプログラム作成CAMシステム「e camo」を発表、12月より発売

複雑高度な複合加工プログラミングの効率化を図れる知識型CAM。

2000/4/14

補聴器事業への参加について発表

米国・ソングバード・メディカル社が世界で初めて発表したディスポーザブル(使い捨て)補聴器事業に参加。当上期から同社向けマイクロフォンとレシーバーの出荷を開始。

世界初のディスポーザブル補聴器用の超小型マイクロフォンとレシーバーを開発。高音質でローノイズでありながら、コストの大幅削減を実現。



2000/10/26

スイス型CNC自動旋盤の新製品「SA-16R型」を発表、2001年1月より発売

「圧倒的な高生産性と旋削プラスアルファの複合加工」を実現し、発売以来幅広い分野で高い評価を得ている「SA-16」型のアップグレード機「SA-16R」を発売。

2000/10/26

自動旋盤の新製品「SI-12C」型を発表

9月に発表した「SI-12」型を一部改良(ノンガイドブッシュタイプ等)したSI-12Cを発表。

2000/9/13

生産子会社株式会社マイクロ菊川設立

光通信関連部品、パソコン関連部品および医療用関連部品など非時計部品の受注拡大への対応を図るため、非時計部品加工の主力工場として生産子会社マイクロ菊川を設立し、2000年10月に操業を開始。



2000/9/4

スイス型自動旋盤の新製品「SI-12」型を発表、12月より発売

新開発のスターモーションコントロールシステム搭載のスイス型自動旋盤「SI-12」を発売。

従来のCNCとは異なる当社が独自に開発した新たな制御方式(スターモーションコントロールシステム)を搭載し、その特性を活かした機械構成を採用することで非切削時間を限りなくゼロにし、ワンサイクルタイムで従来NC機の最大50%短縮する驚異の加工スピードを実現。また同じく独自開発のCAMシステムがNCプログラムレスや3Dシミュレーションを可能にした究極の高生産型マシン。



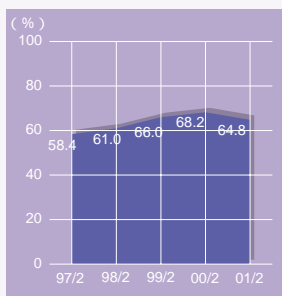
主要財務データ(連結)

要約連結貸借対照表

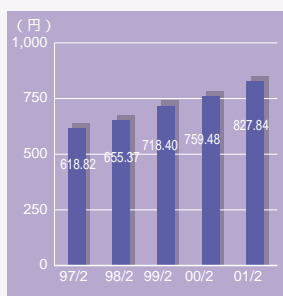
単位:百万円

科目	当期 01年2月期	前期 00年2月期
資産の部		
流動資産	48,053	40,119
固定資産	22,643	19,433
その他連結調整勘定	1,514	3,397
資産合計	72,211	62,950
負債の部		
流動負債	23,868	17,349
固定負債	1,441	2,586
負債合計	25,310	19,935
少数株主持分	101	82
資本の部		
資本金	12,721	12,721
資本準備金	13,876	13,876
連結剰余金	20,202	16,341
自己株式	2	8
資本合計	46,798	42,931
負債、少数株主持分及び資本合計	72,211	62,950

株主資本比率



1株当たり株主資本



要約連結損益計算書

単位:百万円

科目	当 期 01年2月期	前 期 00年2月期
営業損益の部		
売上高	52,304	44,913
売上原価	33,863	28,851
販売費及び一般管理費	12,089	11,509
営業利益	6,352	4,552
営業外損益の部		
営業外収益	585	596
営業外費用	460	1,557
経常利益	6,477	3,591
特別損益の部		
特別利益	181	5
特別損失	1,343	364
税金等調整前当期純利益	5,315	3,232
法人税、住民税及び事業税	2,013	511
その他連結調整勘定	28	18
当期純利益	3,273	2,702

要約連結剰余金計算書

単位:百万円

科目	当 期 01年2月期	前 期 00年2月期
連結剰余金期首残高	16,341	14,060
過年度税効果調整額	1,092	
連結剰余金減少高	505	420
当期純利益	3,273	2,702
連結剰余金期末残高	20,202	16,341

要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当 期 01年2月期	前 期 00年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,019	
税金等調整前当期純利益	5,315	
減価償却費	3,204	
その他	501	
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,073	
有形固定資産の取得による支出	6,290	
その他	782	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,134	
現金及び現金同等物に係る換算差額	371	
現金及び現金同等物の増加額	182	
現金及び現金同等物の期首残高	8,627	
現金及び現金同等物の期末残高	8,809	

(注) 連結キャッシュ・フローについては、01年2月期より集計しております。

主要財務データ(単体)

単体主要財務情報

項目		97年2月期	98年2月期	99年2月期	00年2月期	01年2月期
経営成績						
電子機器部門	百万円	21,252	21,123	21,948	23,590	30,116
工作機械部門	百万円	9,566	11,174	11,359	10,753	14,663
精密部品部門	百万円	4,596	5,738	5,084	4,227	4,557
売上合計	百万円	35,415	38,036	38,392	38,572	49,337
(輸出比率)	(%)	(64.7)	(62.8)	(69.6)	(69.4)	(73.9)
経常利益	百万円	2,146	2,301	2,327	2,421	6,409
当期利益	百万円	498	1,041	1,107	1,313	2,185
1株当たり当期利益	円	8.82	18.44	19.60	23.24	38.66
財政状態						
総資産	百万円	51,049	53,560	53,914	55,128	63,047
純資産	百万円	38,345	39,104	39,873	40,839	43,609
株主資本比率	%	75.1	73.0	74.0	74.1	69.2
1株当たり株主資本	円	678.75	692.19	705.79	722.40	771.40

要約単体貸借対照表

単位:百万円

科目	当期 01年2月期	前期 00年2月期
資産の部		
流動資産	38,256	32,905
固定資産	24,790	22,223
資産合計	63,047	55,128
負債の部		
流動負債	18,023	12,653
固定負債	1,413	1,635
負債合計	19,437	14,289
資本の部		
資本金	12,721	12,721
法定準備金	14,605	14,552
剰余金	16,282	13,565
資本合計	43,609	40,839
負債及び資本合計	63,047	55,128

要約単体損益計算書

単位:百万円

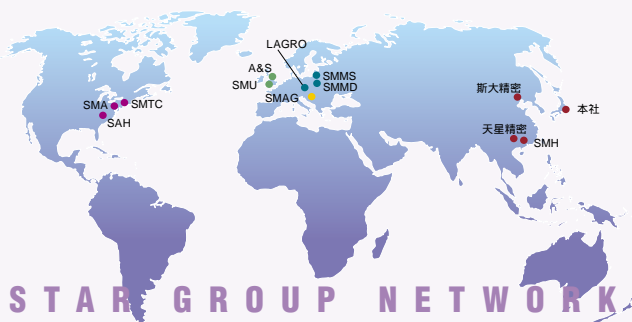
科目	当 期	前 期
	01年2月期	00年2月期
営業損益の部		
売上高	49,337	38,572
売上原価	35,244	28,328
販売費及び一般管理費	8,028	7,724
営業利益	6,064	2,518
営業外損益の部		
営業外収益	737	1,295
営業外費用	392	1,392
経常利益	6,409	2,421
特別損益の部		
特別利益	170	24
特別損失	2,264	404
税引前当期利益	4,315	2,041
法人税、住民税及び事業税	2,130	728
当期利益	2,185	1,313
前期繰越利益	2,651	1,789
過年度税効果調整額等	1,140	
中間配当額	282	197
利益準備金積立額	28	19
当期末処分利益	5,666	2,885

利益処分

単位:百万円

科目	当 期	前 期
	01年2月期	00年2月期
当期末処分利益	5,666	2,885
固定資産圧縮積立金取崩額	5	14
合計	5,672	2,899
これを次のとおり処分いたします。		
利益準備金	35	25
利益配当金 (1株当たり配当金)	282 (5円)	197 (3円50銭)
役員賞与金 (うち監査役分)	30 (2)	25 (2)
次期繰越利益	5,325	2,651

- (注)1. 平成12年11月13日に282百万円(1株につき普通配当3円50銭、創立50周年記念配当1円50銭の計5円)の中間配当を実施いたしました。
2. 固定資産圧縮積立金取崩額は、租税特別措置法に基づくものであり、税効果会計適用後の金額であります。



海外子会社

会社名/所在地	資本金	持株比率	区分
スターマイクロニクス アメリカ・INC(SMA) アメリカ・ニュージャージー	6,000千米ドル	(100%)	販売会社
スターマイクロニクス アジア・LTD(SMH) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス UK・LTD(SMU) イギリス・ハイヴィッカム	4,600千英ポンド	100%	販売会社
天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
斯大精密 大連)有限公司 中国・大連市	41,670千米ドル	100%	生産会社
スターマイクロニクス・AG(SMAG) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
A&S プレシジョンマシンツールズ・LTD(A&S) イギリス・ダーバイシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
スターマイクロニクス MFGドイツ・GmbH(SMMD) ドイツ・アルツァイ	7,700千独マルク	(100%)	生産会社
スターマイクロニクス マネジメントサービス・GmbH(SMMS) ドイツ・フランクフルト	100千独マルク	100%	その他
スターCNCマシンツールCorp(SMTC) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	(100%)	販売会社
ラグロWH・GmbH&Co.KG(LAGRO) ドイツ・ノイエンピュルグ	977千独マルク	(100%)	販売会社
スターアメリカホールディング・INC(SAH) アメリカ・デラウェア	10,000千米ドル	100%	持株会社

(注)持株比率の欄の()内は、間接所有割合を含みます。

国内子会社

会社名	所在地	資本金	持株比率	区分
㈱ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
スターシステム開発㈱	静岡県静岡市	20百万円	100%	その他
新岩田電子㈱	静岡県静岡市	20百万円	90%	生産会社
㈱ミクロ安倍口	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機㈱	静岡県小笠郡菊川町	10百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスメタル㈱	静岡県小笠郡菊川町	30百万円	66.7%	生産会社
新星総業㈱	静岡県清水市	10百万円	100%	その他
㈱ミクロ菊川	静岡県小笠郡菊川町	50百万円	100%	生産会社

会社の概況 (平成13年2月28日現在)

会社概要

設立	昭和25年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	949名
営業品目	1.電子機器(電子プザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバー、大型プリンタ、小型プリンタ、カードリーダー) 2.CNC自動旋盤等工作機械 3.腕時計部品、通信機器用精密部品、自動車関連用精密部品、医療関連用精密部品

役員 (平成13年5月24日現在)

代表取締役 取締役社長	糟谷 省三		
専務取締役	小塚 紀宗	取締役	興津 智彦
常務取締役	鈴木 俊弘	取締役	鈴木 完次
取締役	佐藤 肇	取締役	伏見 千秋
取締役	金子 忠邦	監査役(常勤)	松尾 辰之
取締役	藤原 英夫	監査役	今林 勲
取締役	岡本 憲昭	監査役	石井 浩
取締役	加藤 昌弘	監査役	沼田 勝意

(注) 監査役 今林 勲、石井 浩、沼田勝意の3氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所

本社・機械事業部(営業部)

〒422-8654 静岡県静岡市中吉田20番10号
TEL.054-263-1111

特機事業部・コンポーネント事業部

庵原工場 〒424-0066 静岡県清水市七ツ新屋536番地
TEL.0543-47-0111

中吉田工場 〒422-8001 静岡県静岡市中吉田18番9号
TEL.054-261-7721

瀬名川工場 〒420-0913 静岡県静岡市瀬名川二丁目29番33号
TEL.054-261-2431

機械事業部

菊川工場 〒439-0023 静岡県小笠郡菊川町三沢北ノ谷1500番地34
TEL.0537-36-5511

東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目3番6号 楓ビル5階
TEL.03-5256-2656

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル6階
TEL.06-6395-1559

名古屋営業所 〒465-0043 愛知県名古屋市名東区宝が丘25番地 グローバル25 5-A
TEL.052-777-1505

諏訪営業所 〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258番地の7
TEL.0266-58-8132

北関東営業所 〒373-0819 群馬県太田市新島町744番地 松浪ビル2階
TEL.0276-49-1211

精密部品事業部

富士見工場 〒424-0065 静岡県清水市長崎391番地
TEL.0543-46-0234

苦あれば、樂あり。
最高潮の場面に辿り着きました。



【本堂】開創は奈良時代末期に遡る。幾度の焼失や造営を繰り返し、天正17年(1590)、再建。太い杉材を用いた木造で、今でも約十五年に一度は葺き替えをするという茅葺が趣き深い。

千葉山 智満寺

ち
ま
ん
じ

東海道は第23番目の宿場町、島田。街なかより北へ北へと車を走らせ、目指すは千葉山、標高約320メートルに位置する智満寺。入口に辿り着いても、本堂まではさらに急な石段が二百段余り。息を切らし、半分以上を登り終えると、まずは阿形、吽形の仁王門がお出迎え。さらに何段か登ると、南北朝の頃につくられた中門(静岡県指定文化財)が建ち、その向こうに本堂(重要文化財)がお目見えします。

16世紀末、家康によって改築されたと伝えられるこの本堂。何とんでも、今では珍しい茅葺屋根が風情を深め、しばし見惚れることでしょう。また、この本堂に祀られている御本尊は、重要文化財に指定されている千手観音立像。なんと六十年に一度の御本尊開帳以外に拝むことができないとされる秘仏なのです。残念ながら次回のご開帳の2054年まで、そのお姿を拝見することはできません。



【仁王門】江戸時代初期の建築。門は木造和様寄棟造茅葺。金剛力士立像(阿形、吽形)は、京都の仏師作。

さて、森の中に神秘的に佇む古刹の見所はこれにとどまりません。推定樹齢八百年から一千二百年を誇る十本杉(国指定天然記念物)。一番背の高いものはなんと高さ45メートル、幅8.5メートルにもなります。また樹幹に観音様(乳観音)が祀られていた高さ40メートルもの大公孫樹は、昨年六月に樹齢を全うして倒れ、現在は切り株のそばに乳観音様が祀られています。今でも安産等を拝みにくるご婦人が後を絶ちません。

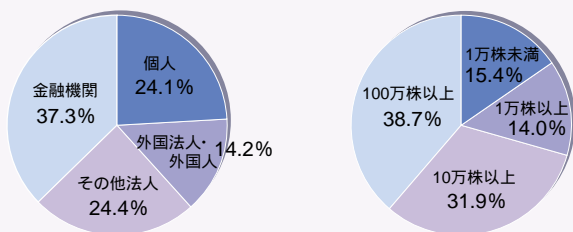
家康や頼朝、今川氏などの名將に愛され、そして今でも開運出世、家内安全、安産などで庶民に親しまれている智満寺。自然が奏でる音色の他に邪魔するものは何も無く、静かなる森の中で、圧倒的な存在感を誇る様に我を忘れず。そして振り返ればうねる山々の間に、光り輝く駿河湾。時代を超えた感動が今湧き起こります。決して安易とは言えない道程を歩き、登り、そして辿り着き、突如として出遭うこの場面に一歩足を踏み入れたとき、それまでの苦勞の全てを忘れてしまったのではないかと、ここに立ち、思うのです。



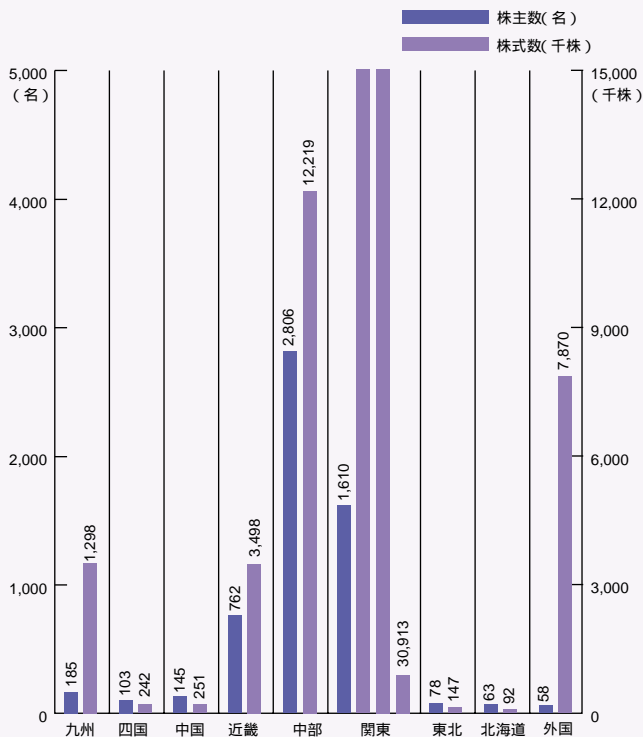
株式の状況 (平成13年2月28日現在)

発行する株式の総数	160,000,000株
発行済株式の総数	56,533,234株
株主数	5,810名
1人平均持株数	9,730株
当期中の名義書換件数	262件
当期中の名義書換株式数	5,297,267株

所有者別・所有株数別分布状況



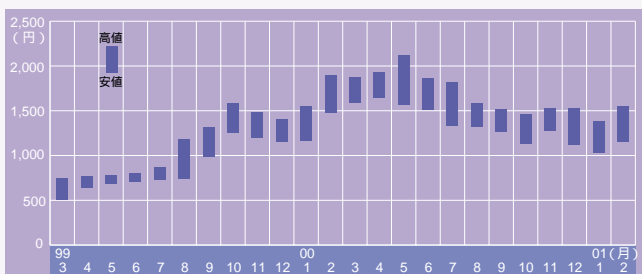
地域別分布状況



大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
シチズン時計(株)	8,658	15.3
(株)第一勧業銀行	2,348	4.2
ザ・チェースマンハッタン バンクエヌエイロンドン	2,105	3.7
東洋信託銀行(株)(信託勘定A口)	1,889	3.3
三菱信託銀行(株)(信託口)	1,732	3.1
(株)静岡銀行	1,582	2.8
住友信託銀行(株)	1,341	2.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	1,236	2.2
野村信託銀行(株)(投信口)	1,000	1.8
朝日生命保険(相)	919	1.6

過去2年間の株価の推移 東京証券取引所市場第一部における高値/安値



株式についてのご案内

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
配当金	利益配当金受領株主確定日 2月末日 中間配当金受領株主確定日 8月31日
基準日	毎年2月末日現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載された株主をもって、その期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とみなします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社 本店 Tel.03-3212-4611(代表)
同取次所	東京証券代行株式会社 営業所および各取次所
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 ドイツ・フランクフルト証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単位の株式数	1,000株

スター精密株式会社

本社 / 〒422-8654
静岡県静岡市中吉田20番10号
TEL. 054-263-1111 FAX. 054-263-1057
<http://www.star-micronics.co.jp>



010312

この冊子はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

R100
古紙配合率100%再生紙



環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。